

株式会社岡三証券グループ（コード8609）
上場取引所：東証プライム・名証プレミア

代表者：取締役社長 新芝 宏之
住 所：東京都中央区日本橋 1-17-6

2023年11月30日

各 位

岡三キャピタルパートナーズによる 株式会社レクメドへの投資に関するお知らせ

当社子会社の岡三キャピタルパートナーズ株式会社（所在地：東京都中央区、代表者：取締役社長 藤野敦）は、同社が運営するファンドを通じて、製薬ベンチャー企業である株式会社レクメド（所在地：東京都町田市、代表者：代表取締役 松本正、以下「レクメド社」）に投資をいたしましたので、お知らせいたします。

出資の目的と背景

レクメド社は、協和発酵工業（現、協和キリン）の第一号社内ベンチャーとしてスタートした製薬ベンチャー企業で、既に 2 つの医薬品（ホモシスチン尿症治療薬「サイスタダン原末」と先天性胆汁酸代謝異常症治療薬「オフアコルカプセル 50mg」）を上市させた医薬品開発の実績が豊富な企業です。足元では、ポリ硫酸ペントサンナトリウム（NaPPS）を利用した変形性膝関節症に向けた治療薬の開発に注力しています。

日本国内で変形性膝関節症を患っている潜在患者数は約 3,000 万人いると言われていています（自覚症状を有する患者数は約 1,000 万人）。また、その大半が 65 歳以上の方々であり、高齢化が進む日本においては患者数が増える可能性があります。変形性膝関節症においてはヒアルロン製剤や再生医療、人工関節など様々な治療方法がありますが、レクメド社の治療薬は皮下注射が可能なおことから整形外科医だけでなく、内科医や看護師でも扱うことができるため、通院が難しい施設の要介護者も利用しやすく、より多くの患者の治療を支援できることが期待されます。

さらに、NaPPS は変形性膝関節症のみならず、ムコ多糖症や HTLV-1 関連脊髄症(MAM)といった希少疾病用治療薬としても期待されています。

岡三キャピタルパートナーズ株式会社は、レクメド社の変形性膝関節症治療薬の独自性と、より広範囲の患者の治療を後押しする社会的意義に注目し、新株の引受に応じました。

（レクメド社概要）

会 社 名： 株式会社レクメド
代 表 者： 代表取締役 松本正
所 在 地： 東京都町田市森野 1-7-23 大樹生命町田ビル 2 階
事業内容： 新医薬品の研究開発と製造販売
設 立： 1998 年 5 月

以 上

本件に関するお問い合わせは、広報 IR 部（03-3275-8248）までお願いいたします。